

専門実践教育訓練明示書(様式例)

講座の名称	助産学専攻科													
実施方法	① 通学 (昼間・夜間・土日) ② 通信 スクーリング(回数 回)													
指定講座番号	7	7	1	0	1	—	1	9	1	0	0	1	—	4
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金対象講座の指定期間				過去一年の講座実績	入講者数(8人)				修了者数 (7人)				
平成 26年 4月 1日	平成 34年 3月 31日まで													
訓練期間	12ヶ月					総訓練時間				975時間				

1. 教育訓練目標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	■ 業務独占資格・名称独占資格 (助産師) <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 () <input type="checkbox"/> 専門職学位 () <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム () <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 () <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 ()
	教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等 ・受胎調節実地指導員 ・新生児蘇生法「専門(A)」コース ・アタッチメント・ヨガ・インストラクター ・アタッチメントベビーマッサージインストラクター
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	本学助産学専攻科に1年以上在学し、33単位以上を修得することにより修了が認定されること(宝塚大学助産学専攻科規則 第10条、第11条)
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	病院やクリニック、助産院などの周産期医療の場で助産師として分娩介助をはじめ、保健指導や母子の看護などに活用される。また、保健センターや産後支援センターなど地域保健の現場でも活用される。

2. 教育訓練の内容

教科 (カリキュラム)	時間	使用教材名
別紙カリキュラムの通り		【使用教材名】 助産学講座1 基礎助産学1 助産学講座2 基礎助産学2 助産学講座3 基礎助産学3 助産学講座4 基礎助産学4 助産学講座5 助産診断技術学Ⅰ 助産学講座6 助産診断技術学Ⅱ・1 助産学講座7 助産診断技術学Ⅱ・2 助産学講座8 助産診断技術学Ⅱ・3 助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健 助産学講座10 助産管理 最新産科学 正常編 最新産科学 異常編 病気が見えるvol10 産科 実践マタニティ診断(第4版) 新生児学入門 母乳育児支援スタンダード(第2版) 新生児蘇生法テキスト 受胎調節指導用テキスト 白衣・上下・ナースシューズ

3. 受講者となるための要件 (この講座を受講するために必要とされている条件など)

①受講するに当たって必要な実務経験等	特になし
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	大学卒業程度かつ看護師資格又は看護師国家試験受験資格 (宝塚大学助産学専攻科規則 第7条)
③その他	

[特記事項]

専門実践教育訓練明示書(様式例)

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	7	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	8	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	7	人	受験率(③/②)	87.5	%
④ ③のうち合格者数	7	人	合格率(④/③)	100	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	7	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	0	人	就職・在職率(⑤+⑥/②)	87.5	%

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	7	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	0	人	②A: 就業者計	0
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	7	人		
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	0
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 円滑な転職に役立つ	0	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	0	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0
	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	7	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	7
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	0	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	0	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	0
	2 おおむね満足	0	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	カリキュラムの進行に応じた小テスト、実技テストを実施し習熟度を確認。 必要時、補習、再テストを行っている。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	

専門実践教育訓練明示書（様式例）

6. 受講効果の把握方法			
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	各科目の出席数が1/3以上で、かつ前期・後期(6か月ごと)の試験成績が60点以上の試験合格者に単位を認定する。 (宝塚大学試験規則 第6条、第7条)		
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	カリキュラムの進行に応じた小テスト、実技テストを実施し習熟度を確認している。必要時、補習、再テストを行っている。		
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	本学助産学専攻科に1年以上在籍し、33単位以上修得した者について、看護学部教授会の議を経て学長が修了を認定する。 (宝塚大学助産学専攻科規則 第10条、第11条)		
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	カリキュラムの進行に応じた小テスト、実技テストを実施し習熟度を確認している。必要時、補習、再テストを行っている。		
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	チューター制度を設け、定期的な個人面談を実施し、必要に応じ個別指導を行っている。		
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	<ul style="list-style-type: none"> ・チューター制による個別面談にて、字面支援、就職支援を実施している。 ・学内のキャリア支援センターの担当職員を配置し、随時相談を受け付けている。 ・助産師国家試験対策として、学内模試を実施し、必要に応じて個別支援を 		
8. その他の事項			
指定教育訓練実施者名及び代表者名	学校法人 関西女子学園		(代表者名: 理事長 玉本 隆)
住所及び連絡先	兵庫県宝塚市花屋敷つつじが丘7番27号		TEL 072-756-1231
施設名称及び施設長名	宝塚大学 大阪梅田キャンパス		(施設長: 事務長 中島 章)
住所及び連絡先	大阪市北区芝田1丁目13番16号		TEL 06-6376-0853
苦情受付者	氏名 会田 洋介 所属 梅田事務部 入試課	事務担当者	氏名 会田 洋介 所属 梅田事務部 入試課
連絡先	TEL 06-6376-0853	連絡先	TEL 06-6376-0853
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		1,243,960 円
支払い方法 ① 一括払 ② 分割払 ③ 両方可	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	150,000 円	
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	1,093,960 円	第1期 593,960 円 第2期 500,000 円 第3期 円 第4期 円 第5期 円 第6期 円 (うち、必須教材費 93,960 円)
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		647,304円
	① 任意の教材費(税込額)	41,904 円	
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	円	
	③ 施設維持費(税込額)	600,000 円	
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税	5,400 円	
	3. 総額 (1+2) (税込額)		1,891,264 円

助産学専攻科 教育課程

区分	授業科目	科目ナンバー	配当年次	単位数		時間数	修了要件
				必修	選択		
基礎助産学	助産学概論	JSP11101	1 前期	1		30	必修6単位
	周産期の生理と病態 I	JSP11102	1 前期	2		30	
	周産期の生理と病態 II	JSP11103	1 前期	2		30	
	母子の心理社会学	JSP11104	1 前期	1		15	
助産診断・技術学	助産診断・技術学 I	JSP11201	1 前期	1		15	必修11単位
	助産診断・技術学 II	JSP11202	1 前期	2		30	
	助産診断・技術学 III	JSP11203	1 前期	1		15	
	助産診断・技術学 IV	JSP11204	1 前期	1		15	
	助産診断・技術学演習 I	JSP11301	1 前期	2		60	
	助産診断・技術学演習 II	JSP11205	1 前期	1		30	
地域母子保健論	JSP11105	1 前期	1		15		
助産管理	助産管理学	JSP11106	1 後期	2		30	
助産学実習	助産学実習 I	JSP11401	1 通年	3		135	必修12単位
	助産学実習 II	JSP11402	1 通年	6		270	
	助産学実習 III	JSP11403	1 通年	2		90	
	地域母子保健実習	JSP11404	1 後期	1		45	
助産学実践関連	助産学研究	JSP11107	1 後期	1		30	必修2単位
	アーバンヘルス特論	JSP11108	1 後期	1		15	
	アートとグリーンケア	JSP12201	1 後期		1	15	選択必修 2単位以上
	アタッチメント・ヨガ	JSP12202	1 後期		1	30	
	アタッチメント・ベビーマッサージ	JSP12203	1 後期		1	30	
修了要件単位数							33単位以上
助産師国家試験受験資格を取得する場合の最低必要単位数							